

野球大会で地域と交流

昭和石材工業所

6年ぶり実施し150人参加

昭和石材工業所（本社

・東京都新宿区、高瀬順
司社長）は5月18日、主

力工場の古里鋳業所の立
地する西多摩郡奥多摩町
の古里小学校において

「高瀬杯争奪野球大会」

を開催した。野球大会は

地域との交流や親睦を深
めることを目的に197

7年に始まり44回目の今

回はコロナ禍を挟んで6

年ぶりの実施。地域住民

が地区別に4チームに分かれ、奥多摩町の独身寮に暮らす同社社員や高瀬社長も参加して試合し、合間には小学生や未就学児童による玉入れ、地元少年野球クラブによる技量のお披露目などを行い約150人が参加した。

高瀬社長は「私が社長に就任して初めての高瀬杯ということで特別な想いがあり、野球を通じ地域の皆さまと交流できて

子どもたちが笑顔で楽しむ姿をみて本当に嬉しい。私たちの会社や社員の顔を多くの方々を知っていただき地域の皆さまと自然に交流が生まれるような、そんな場でありたいと考えている。ひとつの『ものづくり』を通して色々な方とかかわり、対話をし、その経験を自分たちの成長の糧にするのが当社の目指す姿。地域の皆さまとも



奥多摩町の古里小学校で開催

に成長して

いける企業

を目標に掲

げており、

『高瀬杯』

は交流を深

める貴重な

場として継

続的に開催

していき

た。『話し

た。』と話し